

## LPガスCP情報(2017年2月積み)

### 1. 2月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン510<sup>ドル</sup> (前月比+75<sup>ドル</sup>)

ブタン600<sup>ドル</sup> (前月比+105<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が堅調に推移するなか、気温低下でLPガス暖房需要が増加し需要国の在庫が減少、これに対し産ガス国の減産やプラントトラブルなどもあり在庫は薄く供給がタイトになり市況は急騰した。特にブタンはブタジエン需要増もあり売り手が見当たらず、プロパンとの混載カーゴの買いテンダーも流れている。CP先物は第3、第4週にはプロパン500<sup>ドル</sup>、ブタン600<sup>ドル</sup>を突破、フレート市況は堅調に推移し、極東CFR市況は第4週末にプロパン510<sup>ドル</sup>、ブタン600<sup>ドル</sup>に達した。ナフサは原油市況に連れ高、月間平均は510<sup>ドル</sup>、前月比36<sup>ドル</sup>の大幅続騰。バンカーオイルは、原油市況に追随し堅調推移、月間平均で331<sup>ドル</sup>、前月比5<sup>ドル</sup>の上昇。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB)は、全米プロパン在庫が輸出増と気温低下で大幅に減少し、360~435<sup>ドル/ト</sup>へと続騰した。月間平均は387<sup>ドル/ト</sup>。

2月CPは前年同月比プロパン75<sup>ドル</sup>、ブタン105<sup>ドル</sup>続騰。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン17ポイント、ブタン24ポイント高、前年同月比ではプロパン18ポイント、ブタン12ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	30	30	34	32	32
CP先物指標:P	445	470	510	510	484
CP先物指標:B	500	525	595	600	555

#### ② 原油市況等

WTIは12月52.33<sup>ドル</sup>でスタート、12月にOPEC・非OPECの協調減産合意遵守を巡り、期待感から堅調に推移した。サウジが150万バレルの協調減産を達成していると表明、IEAが上半期に需給の再均衡の見通しを発表するなど市況に追い風となったが、北米のリグ稼働数が急増、2015年11月の水準にまで回復し米国の原油生産量は増加に転じ日量900万バレルに迫っている。順調とみられた協調減産効果が米国の増産に減殺されるとの懸念から原油市況は上値が重い展開となっている。

一方、NYMEXのWTI総取組高は中旬には218万枚超まで増加、大口投機玉の買越残高は1月24日時点で48.3万枚と過去最高を更新している。米株価が最高値を更新しリスク許容度が高まっている。大口投機買建玉は64万枚に達し、売建玉は手仕舞われ16万枚に減少。

○1月積みアラビアン・ライト(1月1~27日)は53.12<sup>ドル</sup> (前月比+0.26<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン435.55<sup>ドル/ト</sup> ブタン429.57<sup>ドル/ト</sup>

AL比 プロパン117.09% ブタン139.67%

\*上記アラビアン・ライトはEIN推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

### 2. 2017年2月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	117.07	55,300	64,100	+8,400	+11,400
26~25日②	116.51	55,100	63,800	+7,800	+10,700
1~31日③	115.77	54,700	63,400	+7,000	+9,900

\*TTS平均について、①が12月21日~1月20日、②は12月26日~1月25日、③は1月1~31日まで、①、②、③ともに2月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。なお、2017年1月から一部元売プロパン仕切のフォーミュラがモンベルビュープロパンスポット価格とCPの合成FOBに変更されています。詳細は弊社Webサイトでご確認ください。